

■評価総括表

資料 7

第1編 ごみ処理基本計画

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
基本目標	ごみの年間総排出量	ごみの年間総排出量	数値		A	A	目標達成率95.9%、前年度比487t減となったことから、Aとした。	資源循環課
	市民1人1日当たりの排出量	市民1人1日当たりの排出量	数値			A	目標達成率97.8%、前年度比11.6g減となったことから、Aとした。	資源循環課
	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量	数値			A	目標達成率95.2%、前年度比6.6g減となったことから、Aとした。	資源循環課
	リサイクル率	リサイクル率	数値			C	目標達成率87.5%、前年度比0.4ポイント減となったことから、Cとした。	資源循環課
	最終処分率	最終処分率	数値			A	目標達成率98.6%、前年度比0.2ポイント減となったことから、Aとした。	資源循環課

【基本方針Ⅰ】ごみの発生抑制・再使用・再生利用の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
1. リフューズの推進	①マイバッグ運動・レジ袋対策の推進	活動実績	-		-	-	令和4年度をもって施策終了	資源循環課
2. リデュースの推進	①環境を意識したごみの排出抑制の啓発	市民1人1日当たりの排出量	数値		A	A	目標達成率97.8%、前年度比11.6g減となったことから、Aとした。	資源循環課
	②ごみ減量・リサイクル推進店の活動支援	活動実績	数値外			B	ホームページ等を活用し周知を図ったものの、前年度と変わらず80店舗であったことから、Bとした。	資源循環課
	③生ごみ処理容器等の普及の推進	生ごみ処理容器等の購入基数	数値			A	目標達成率97.3%となったことから、Aとした。	資源循環課
	④ごみの排出抑制・減量化に繋がる諸制度の検討（重要検討施策）	検討の有無	数値外			A	庁内関係課と連携し、フードドライブの仕組みを構築するとともに、給水スポット設置によるプラスチックごみ削減の推進を図れたことから、Aとした。	資源循環課

3. リユースの推進	①リサイクル市・フリーマーケット等の開催情報の提供【廃止】	-	-	B	-	令和元年度をもって施策終了	資源循環課
	②リサイクル品の活用推進	リサイクル品展示数	数値外		B	リサイクル家具展示を3回行ったが、官公庁オークションでは結果が残せなかったことから、Bとした。	環境事業センター（業務担当）
4. リサイクルの推進	①剪定枝資源化の推進	活動実績	数値	A	A	前年度比116+増の約722+の資源化を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	②適正分別のための情報提供（重点施策）	周知実績	数値外		A	Web検索ツール「ごみサク」の品目件数を前年度比1,099件増の1,759件とし内容の充実が図れたことから、Aとした。	資源循環課
	③集積場所における適正排出の指導	実施の有無	数値外		A	環境指導員地区会議などを通して、環境指導員に排出指導の依頼を行ったことから、Aとした。	環境事業センター（業務担当）
	④家電リサイクル推進の継続	周知実績	数値外		A	「ごみと資源物の分け方・出し方」やホームページにおいて、排出方法の周知が図られたことから、Aとした。	資源循環課
5. 事業系一般廃棄物の排出抑制・資源化の推進	①「4R推進事業者行動協定」の創出【廃止】	-	-	B	-	令和4年度をもって施策終了	資源循環課
	②多量排出事業者における減量化等計画書の提出（重点施策）	提出数	数値		B	多量排出事業者25社に対し、25社から減量化等計画書の提出があり、目標達成率100%となったが、効果が見られなかったことから、Bとした。	資源循環課
	③事業系ごみの排出状況の把握（重点施策）	実施の有無	数値外		B	ごみの組成分析調査を実施し、事業系ごみの不適正排出や食品ロスの実態を把握することができたが、効果が見られなかったことから、Bとした。	資源循環課
	④事業者の訪問（重点施策）	訪問件数	数値		C	事業者訪問の実施に替えて、アンケート調査を実施し、その中で、適正排出を促す啓発を行うことができたが、効果が見られなかったことから、Cとした。	資源循環課
	⑤事業系直接搬入ごみの分別指導（重点施策）	定期的な指導	数値外		B	搬入物調査による適正分別の指導を実施することができたが、効果が見られなかったことから、Bとした。	資源循環課
6. 受益者負担の適正化	①ごみ有料化の検証	実施の有無	数値外	A	A	「ごみ有料化及び戸別収集に関するアンケート調査」の実施を通じて、ごみ有料化の効果検証を進め、各種広報媒体にて、その効果を周知することができたことから、Aとした。	資源循環課
	②一般廃棄物処理手数料改定の検証	実施の有無	数値外		A	「ごみ有料化及び戸別収集に関するアンケート調査」の実施を通じて、ごみ有料化の効果検証を進め、各種広報媒体にて、その効果を周知することができたことから、Aとした。	資源循環課

【基本方針Ⅱ】資源循環型まちづくりを目指したごみ処理システムの構築

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
1. 収集・運搬 (1)ごみを取り巻く環境の 変化に対応した収集・運搬の検 討	①効率的でバランスの良い収集区割の調査・検討	実施の有無	数値外		A	A	集積場所が増加するなかコースの見直しにより増車することなく収集を継続できたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	②今後の社会情勢を踏まえた集積場所のあり方、収集方法の検討(重要検討施策)	実施の有無	数値外			A	環境指導員地区会議の中で、自治会長や環境指導員の戸別収集に対するニーズの調査を行い、今後の収集方法などのあり方の参考とすることができたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
(2)環境と安全に配慮した収 集・運搬の実施	①環境負荷の少ない収集車両の積極的な導入	導入台数	数値		A	B	環境負荷の少ない収集車両を導入することはできませんでしたが、次年度以降の導入に向けた仕様の作成を行ったことから、Bとした。	環境事業センター (業務担当)
	②環境指導員との連携による集積場所の安全確保	研修会及び意見交換会の開催	数値外			A	環境指導員地区会議の中で、アンケート調査の実施も含め、集積場所の諸問題の意見交換を行い、集積場所の安全確保に努めたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	③環境負荷の少ない収集・運搬技術の研究及び積極的な導入	研修会等実施実績	数値外			A	安全運転の研修(1回)、安全作業の研修(1回)、安全整備の研修(1回)を行い、収集運搬技術の向上を図れたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
2. 中間処理 (1)中間処理施設の整備	①リサイクルセンターの適正かつ効率的な運営	実施の有無	数値外		A	A	隔月で開催される運営全体会議やセルフモニタリングの実施を通じて、リサイクルセンターの適正かつ効率的な運営に努めたことから、Aとした。	資源循環課
	②粗大ごみ処理施設の整備	実施の有無	数値外			A	選定委員会で最優秀提案者を選定後、市議会の同意の議決を得て、当該事業者とDBO契約を締結し、滞りなく事業を実施したことから、Aとした。	資源循環課
	③焼却処理施設の大規模改修	実施の有無	数値外			A	保守点検の結果に基づく適正な修繕を実施して性能水準を保ち、ごみの適正処理を滞りなく継続できたことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	④バイオガス化施設整備の基礎調査及び検討【廃止】	-	-			-	平成30年度をもって施策終了	資源循環課
(2)中間処理残渣の減量化・ 再資源化の促進	①焼却残渣再資源化方法の調査・研究	調査・研究の有無	数値外		B	A	薬剤による焼却残渣の資源化についての調査研究を進めることができたことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	②焼却残渣再資源化の促進	焼却残渣再資源化量	数値			B	目標達成率90.9%、前年度比111t減となったことから、Bとした。	環境事業センター (管理担当)
	③中間処理残渣の減量化・再資源化に繋がる中間処理技術の研究	研修会等への参加実績	数値外			B	研修会等へ出席することはできなかったが、ばいじんの量の減少が見込める新しい薬剤の試験を実施することができたことから、Bとした。	環境事業センター (管理担当)

3. 最終処分	①焼却残渣の減量施策の実施	焼却処理量	数値		A	A	目標達成率92.8%、前年度比211t減となったことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	②最終処分場の安全管理の実施	実施の有無	数値外			A	施設の保守点検及び修繕を行い、安全管理を実施できていることから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	③最終処分に関する検討	検討の有無	数値外			A	地元関係団体との定例会を開催し、各種調査結果等の報告を行うとともに、意見交換が図れたことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
4. 茅ヶ崎市域災害廃棄物の処理	①災害廃棄物の適正かつ迅速な処理体制の構築	実施の有無	数値外		A	A	新たな協定の創出に至ったことから、Aとした。	資源循環課
5. 適正処理 (1)処理困難物等の処理方法についての情報の充実	①処理困難物の処理方法等についての情報の充実	広報実績	数値外		A	A	「ごみと資源物の分け方・出し方」への掲載、環境指導員への資料配布、ホームページ、SNSにより周知を行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	②製品の適正なリサイクルルートの周知	情報発信の有無	数値外			A	環境学習会での説明や各種広報媒体での案内を継続して実施することができたことから、Aとした。	資源循環課
(2)不法投棄に対する防止策の検討	①重点地域・強化期間等を定めたパトロール・監視の強化	パトロール・監視実績	数値外		A	A	不法投棄の防止に向け、パトロールの実施や不法投棄防止看板、監視カメラの設置を行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	②県や警察との協力関係の強化	パトロール・監視実績	数値外			A	連絡会を開催し、不法投棄対策に関する協議や意見交換を行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	③市民、事業者と連携した不法投棄の防止	不法投棄量	数値			A	前年度比0.1t減の9.4tとなったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	④キャンペーン等啓発活動の実施	活動実績	数値外			A	「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」の中で、通常パトロール以外のコースのパトロールを行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	⑤不法投棄に関する調査・研究の実施	調査・研究の有無	数値外			A	家電製品協会の不法投棄対策に関する助成制度を活用したことに加えて、不法投棄箇所やパトロールコースをデータ化し、監視の参考となっていることから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)

【基本方針Ⅲ】市民・事業者・行政の協力体制及び4Rの推進を誘発する支援体制の確立

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
1. 広報紙等各種媒体の利用による啓発の充実	①広報手法・広報内容の検討及び効果的な啓発の実施	実施の有無	数値外		A	A	「ごみ通信ちがさき」を発行し、全戸配布により、ごみ排出量の推移などの本市の現状や家庭等で実践できる具体的なアクションメニューについて周知を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	②ホームページ、ハーモニアスちがさき（市の広報番組）等の積極的な活用	実施の有無	数値外			A	ごみ有料化に関する特設ページ及びWeb検索ツール（ごみサク）などを都度更新し、広報媒体を積極的に活用したことから、Aとした。	資源循環課
	③公共施設等におけるポスター掲示の活用	実施の有無	数値外			A	「ごみ通信ちがさき」を公共施設等へ配架し、ごみ排出量の推移などの本市の現状や家庭等で実践できる具体的なアクションメニューについて周知を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	④外国人向けごみ情報の案内	実施の有無	数値外			A	ホームページ（8カ国語対応）へ掲載するとともに、「ごみと資源物の分け方・出し方」に英語・中国語による概要版を掲載したことから、Aとした。	環境事業センター（業務担当）
2. ごみ問題に関連した市民対話・環境学習等の充実	①ごみ問題に関する市民との意見交換会の実施（重点施策）	実施実績	数値外		B	B	11自治会に対して出前講座を実施し、ごみ有料化実施前後のごみと資源物の排出量の推移などをお知らせしたが、昨年を下回る講座回数となったことから、Bとした。	資源循環課
	②発生抑制、資源化に関する講演会の開催	開催実績	数値外			C	講演会を開催することはできなかったが、当課職員が講師となり、様々な機会での情報発信に努めたことから、Bとした。	資源循環課
	③児童向け環境学習への市職員の派遣	派遣実績	数値外			B	10小中学校に対して、出前講座（環境学習会）を実施し、講座内容の更新も行ったが、昨年を下回る講座回数となったことから、Bとした。	資源循環課
	④親子向け、市民グループ向け等多方面への廃棄物処理施設見学会の実施	実施実績	数値			A	施設（環境事業センター）見学会を27回開催し、延べ2,049人の方々に参加したことから、Aとした。	環境事業センター（管理担当）
	⑤市民、事業者向け講座の開催	開催実績	数値外			B	11自治会に対して出前講座を実施し、ごみ有料化実施前後のごみと資源物の排出量の推移などをお知らせしたが、昨年を下回る講座回数となったことから、Bとした。	資源循環課
	⑥環境フェアにおける情報発信	開催実績	数値外			A	「ちがさき環境フェア2023」において、フードドライブ及び食品ロス排出量のパネル展示により、食品ロス削減によるごみ減量化の周知啓発を行ったことから、Aとした。	資源循環課

第2編 生活排水処理基本計画

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
基本目標	生活排水処理率	生活排水処理率	数値		A	A	目標達成率99.9%、前年度比0.1%増となったことから、Aとした。	下水道河川建設課

【基本方針Ⅰ】公共下水道（污水）・合併処理浄化槽の整備促進による生活排水処理の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
Ⅰ. 公共下水道（污水）・合併処理浄化槽の普及推進	①公共下水道（污水）整備事業の推進	汚水面整備率	数値		B	A	目標達成率98.2%、前年度比0.06ha増となったことから、Aとした。	下水道河川建設課
	②水洗化奨励金制度等の活用による公共下水道への接続の促進	水洗化普及率	数値			A	目標達成率99.1%、前年度比0.1ポイント増となったことから、Aとした。	下水道河川総務課
	③補助制度の周知による合併処理浄化槽への転換の促進	補助事業により合併処理浄化槽を設置した基数	数値			C	目標2基（5人槽規模）（転換配置）に対し、補助は0基となったことから、Cとした。	下水道河川建設課

【基本方針Ⅱ】安定した収集・運搬と、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
Ⅰ. し尿及び浄化槽汚泥の適正処理	①し尿及び浄化槽汚泥量の変化に対応した収集・運搬計画	計画策定	数値外		A	A	排出量に対応した収集運搬計画を策定し、委託業者と円滑かつ適切な収集・運搬を行ったことから、Aとした。	環境保全課
	②し尿処理施設の適正な維持・管理	実施の有無	数値外			A	寒川町と連携し、適正な維持管理、修繕等を行ったことから、Aとした。	環境保全課

【基本方針Ⅲ】水環境の向上に向けた啓発活動等の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の 評価	市の 評価	市の 評価	市の評価理由	担当課
Ⅰ. 啓発及び情報提供	①浄化槽の清掃の啓発	活動の有無	数値外		A	A	浄化槽の清掃作業に関して、利用者に対し検査の案内と併せて清掃の説明も行うなど、直接的な手法により効果的な啓発を実施できたことから、Aとした。	環境保全課
	②広報紙等による情報発信（重点施策）	活動実績	数値外			A	市民便利帳ちがさき生活ガイドなど複数の媒体で情報発信することができたことから、Aとした。	環境保全課